

## 今日の説教のポイント<マタイによる福音書 21 章 12~17 節>

### ①神殿とは何なのか？ → 教会とは何なのか？

神殿でなされたイエス様の言動は、今の私たちに、「あなたは何を求めて教会にやって来ているのですか」と問いかけて来ます。イエス様は、「売り買いをしていた人々を皆追い出し、両替人の台や鳩を売る者の腰掛けを倒され」(12)て、「『私の家は、祈りの家となるべきである』ところが、あなたたちは、それを強盗の巣にしている」(13)と言われました。神殿に来る人は皆それなりに神様のことを思っており、また鳩を売る人も神殿に来る人のために売るのだという思いをそれなりに持っていたのではないのでしょうか。しかしイエス様は、「神様を覚えながら生きる大きな恵みを、まだあなたたちは分かっていない」ということではなかったのでしょうか。しかし、この時、この神殿の中で、神様の大きな恵みを知り、感謝の思いで満たされた人々がいるのです！ 誰でしょうか？

### ②分かる者には分かった神様の破格の恵み、イエス・キリストその方！

この出来事の後、境内で、そばに寄って来た目の見えない人や足の不自由な人をイエス様は癒された、とあります(14)。「ああ、いつものことだな」と思っただけではありません。癒された人たちの喜びはどんなに大きかったことでしょうか！ この人たちは、神様がこの神殿に用意して下さった破格の大きさの神様の恵みを受け取った、分かった、喜びに満たされたのです！ 大事な点は、それがイエス様によってもたらされたということです！ だから、境内で、子どもたちまで叫んで、「**ダビデの子にホサナ**」と言ったのです(15)。

### ③今の世も、教会が宣べ伝えるのは、このイエス・キリストの恵み！

「それが駄目なら、これはどう？」。過剰な宣伝で次々差し出される新商品（物だけでない。新しい生きがい等も）。しかし、「一つ駄目なら次の飛び石に移りながら生きて行くうちに終わりを迎えるのが人生なのか、それらでは真の満足や解決が得られないのではないか」、と考える人も出て来ています。今こそ、教会は、高価な真珠を見つけた商人が持ち物を全て売り払ってそれを買った (13:45-46) 神様が与えて下さったイエス・キリストという宝を世に示す責任を負っています。